

関係者のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 青柳 麻紀

新潟市の中学校で防災学習と体験活動を実施

災害時に避難所に指定されている中学校で、地震や洪水などの災害の種類を学び、防災への意識を高め「日頃からの備え」を大切にする姿勢を育てることを目的に防災学習を実施した。まずは、「新潟県マイ・タイムライン教室」を利用したの進行、ハザードマップで浸水想定を確認し、NHK 新潟放送局のご協力により、AR(拡張現実)で浸水想定を再現した。体験活動として段ボールベットやパーティションなどの避難所で使用する道具の組立を行い生徒が避難所でできることを考え、実践した。

また、校舎の屋上から「我がまち」を眺め自宅の位置や周辺の環境・地形などを確認し防災へのイメージを共有しました。

日時:令和 4 年 5 月 18 日(水) 10:35 ~ 12:10

場所:新潟西蒲区の中学校

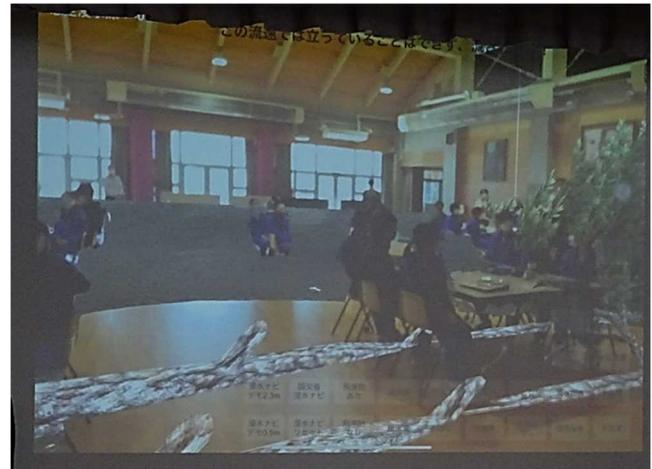
対象:第 3 学年 生徒 36 名



「新潟県 マイ・タイムライン教室」を利用して「自助」を習得



NHK 新潟放送局が制作したハザード
VR ポスター 当該地は浸水想定は 3m



座っている生徒たちの足元に流木が・・・
スクリーンに AR で氾濫流を再現



生徒も AR(拡張現実)を体験



ともだちが…… 水深 1m



段ボールベット 丈夫だよ！



生徒たちがパーティション組立て中



校舎の屋上から自宅と地形を確認！ 水田が続く低平地 広大な新潟平野が眼下に広がる